

市原歴史博物館 令和5年度特別展**「いちはらのお薬師様－流行り病と民衆の祈り－」を開催**

市制施行60周年記念事業として、市原歴史博物館開館後初の特別展「いちはらのお薬師様－流行り病と民衆の祈り－」を開催します。

本特別展では、新型コロナウイルスの終息を願い、県内最古の白鳳仏である栄町龍角寺「銅造薬師如来坐像（国指定重要文化財）」をはじめ、市内に残る平安時代後期以降の木造薬師如来坐像や日光・月光菩薩、十二神将像など、県や市の指定文化財を含む43体が一堂に集結します。

これまで世に出ていなかった本市の貴重な歴史遺産を多数紹介し、先人たちが流行り病にどう対処してきたのか、その歴史や祈りのすがたを紹介し、様々な体験を通じてわかりやすく伝えます。

1 開催情報

- (1) 開催期間
令和5年10月1日(日)～12月24日(日) (計73日間)
- (2) 会場
常設・企画展示室 ※常設展示品の一部は多目的室にて展示
- (3) 開館時間及び休館日
9時から17時まで、月曜日休館（祝日の場合は翌平日）



木造薬師如来坐像(上高根称禮寺)【県指定】

2 関連イベント

- (1) 講演会
内容 中世房総の仏像について
日時 令和5年12月10日(日) 午後
講師 塩澤 寛樹(群馬県立女子大学教授・本市文化財審議会委員)
会場 五井会館4階大ホール
- (2) フィールドミュージアム
 - ・ 11月10日(金) 市内ご利益街歩き(上総国分寺ほか)
 - ・ 11月25日(土) 県内の薬師仏をめぐるバスツアー
- (3) ワークショップ
 - ・ 8月27日(日) 夏休み親子参加「段ボールで石燈籠づくり」
 - ・ 9月24日(日) 木組みを学ぶ「寺社フレームづくり」
 - ・ 開催期間中 お札の「木版刷り体験」や「仏像の3Dスキャン体験」などを実施

3 メディア向け内覧会

9月最終週の平日を予定しています。